

令和 6 年度 森林づくり県民税活用事業の実施状況について

北信地域振興局 林務課

北信地域の令和 6 年度の森林づくり県民税（以下、「森林税」という。）活用事業では、「再造林の加速」や「広く県民が親しめる里山づくり」や「森林空間の活用」、市町村が行う森林整備などの取り組みを進めるべく、管内の市町村や林業事業体、地域振興局により、各種事業を実施してきました。

管内の令和 6 年度事業の実施状況は、以下のとおりです。

1 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

① 人工造林・初期保育の補助額の嵩上げ（信州の森林づくり事業）…事業一覧表 ①

森林所有者の負担の大きい再造林費用や下刈りなどの経費の支援（嵩上げ）を、飯山市、山ノ内町及び栄村で実施しました。（植栽等延面積 12.23ha）



山ノ内町竜王地区（町有林ヘカラムツを植栽）



栄村仙当地区（少花粉スギを植栽）

② 防災・減災のための里山整備（みんなで支える里山整備事業）…事業一覧表 ②

安全な暮らしを守るための間伐を、栄村泉平地区の集落周辺の未整備森林で実施しました。



搬出間伐（3.08 ha）



急峻な森林も整備

2 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

開かれた里山の整備と利用の推進

多くの人々が「レクリエーション」や「観光拠点」として活用できる「開かれた里山」の仕組みづくりや森林整備を3地域で実施しました。

●中野市栗林地域（里山整備利用地域活動推進事業）…事業一覧表 ③-2



浜津ヶ池周辺の不良木を伐採・集積し、散策拠点を整備
整備は協議会が森林組合へ発注し、支障木44本を伐採

●飯山市小境・鷹落山麓地域（里山整備利用地域活動推進事業ほか）…事業一覧表 ③-2



一般を対象に森林教室を開催

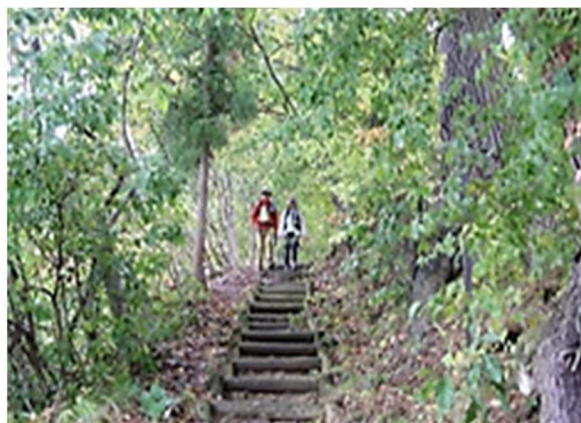


里山整備参加者を育成する技術研修

●山ノ内町湯田中地域（里山整備利用地域活動推進事業）…事業一覧表 ③-2



歩道の整備（支障木を伐採整理）
整備は協議会が林業事業体に発注
支障木11本を伐採

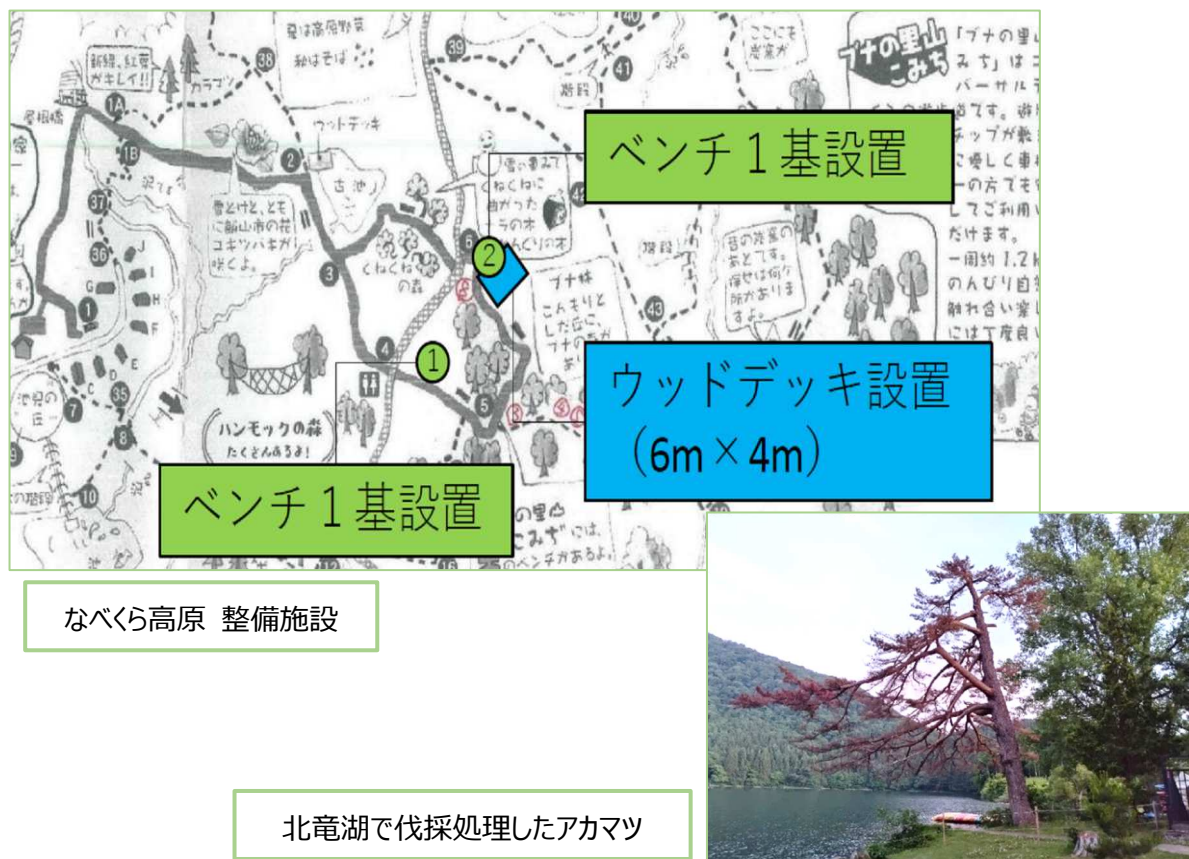


遊歩道を散策する温泉宿泊者

3 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援

① 森林サービス産業総合対策事業（森林空間整備・施設整備）…事業一覧表 ⑩-1

- ・森林セラピー基地の利活用を進めるため、飯山市のなべくら高原及び北竜湖周辺で施設整備や不良木伐採などの環境整備を行いました。



② 多様な林業の担い手確保育成事業…事業一覧表 ⑫

- ・「林業」の認知度向上や他産業との協業による担い手の確保を目的として、林業事業者が福祉など他産業と連携して取り組む活動を支援しています。
- ・飯山市の林業事業者（フォレストデザイン）が、同市の福祉団体と林福連携による担い手の確保・育成に取り組みました。
- ・薪の生産を通じて、担い手確保と障がい者雇用の場を創出することができました。今後も同事業者による薪生産が継続される予定です。



薪づくりのOJT



安全に薪割り作業を実施

4 市町村と連携した森林等に関する課題の解決

市町村森林整備支援事業

●中野市 緩衝帯整備（日野地区 1.95ha）…事業一覧表 ⑬- 3

- ・中野市は市内全域の森林と農地の境界部に広域電気柵（総延長約 46km）を設置しています。
- ・本事業で電気柵に隣接する茂みを一定幅で伐採することにより、野生鳥獣の出没抑制効果と電気柵の設置効果を一層高めるための環境づくりを進めています。
- ・市では広域電気柵を設置する集落ごとに年度別の緩衝帯整備計画を定め、計画的な整備により、農業被害を軽減することとしています。



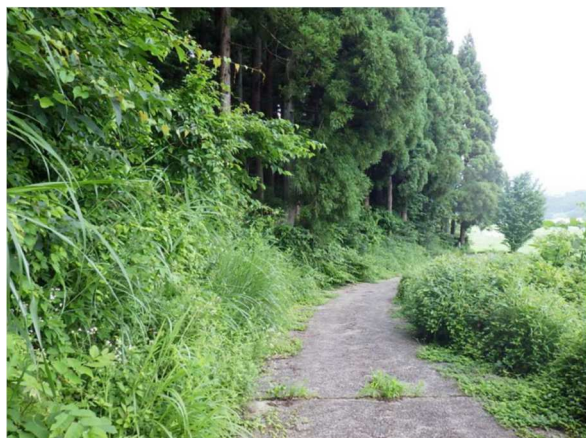
整備前



整備後

●飯山市 緩衝帯整備（柳原地区山口区ほか 2ヶ所 7.2ha）…事業一覧表 ⑬- 3

- ・中山間地域を広く抱える飯山市の里山と集落の間に存在する荒廃森林や荒廃農地は、クマやイノシシなどの移動・潜伏場所となっており、そこを拠点に野生鳥獣が集落に出没しています。
- ・飯山市では緩衝帯の整備により山際の見通しを良くすることで、野生鳥獣が集落に出没しにくい環境づくりを進め、農業被害の軽減や人身被害を防止することとしています。



整備前



整備後

●山ノ内町 観光地等景観整備（志賀高原 大径木の伐採 1本）…事業一覧表 ⑬- 2

- ・志賀高原は、長野県、群馬県、新潟県の県境にまたがる上信越国立公園に位置する国内屈指の観光地で、通年で観光客の入り込みの多い森林エリアです。
- ・志賀高原の広大な森林の維持管理は、山ノ内町の課題のひとつですが、同高原の琵琶池遊歩道沿いの巨木のひとつに大きなウロ（空洞）が確認されたため、倒木による観光客の事故防止対策の観点から本事業により巨木の伐採処理を行いました。
- ・山ノ内町では森林税事業を活用しつつ、森林の風致景観保全と観光利用を適切に推進する国立公園を目指すこととしています。
- ・町ではこの他に、**上條地区**で 2.01ha の緩衝帯整備を実施しました。



大きなウロが確認された歩道脇の巨木



巨木の伐採作業

●**木島平村 森林病虫害対策**（池の平 病虫害被害木の伐採処理 5 本）…事業一覧表 ⑬- 5

- ・北信管内の松くい虫被害は平成 7 年度の被害量をピークに、近年はわずかな被害量で推移していますが、撲滅には至っていない状況です。
- ・国の松くい虫被害対策事業の対象区域は、被害が大きく拡大する森林が対象です。木島平村では国の事業の対象とならない場所（スキー場）で松枯れが発生していることから、森林税事業を活用して被害木の伐採処理を行っています。
- ・今年度は、主要道路沿いの倒木の危険性が高い被害木を優先的に処理しました。



道路沿線の松くい虫被害木



伐倒・くん蒸処理

●**栄村 ライフライン保全対策**（横倉・長瀬地区 電線沿いの立木伐採）…事業一覧表 ⑬- 1

- ・栄村では、令和 2 年 12 月の降雪による多数の倒木・枝折れが通行障害や大規模停電を引き起こした経験から、ライフライン保全対策に力を入れています。
- ・事業では、倒木になりそうな道路や電柱・電線沿いの立木 43 本を伐採し、住民の安全・安心な暮らしの確保に取り組みました。
- ・村ではこの他に、**長瀬地区で 4.54ha の緩衝帯整備**を実施しました。



整備前



整備後（電線沿いを一定幅で伐採）

〔参考〕

■木島平村の緩衝帯整備の優良事例 → ゼロ予算で村が実施

高石区下方の集落にクマが出没、この藪がクマの移動経路の可能性が示唆されていました。
馬曲川河川敷（撮影地点）の対岸には 木島平小学校、おひさま保育園があり、安全対策面で危機感を持った村役場の調整で**現地確認から1週間のごく短期間で藪刈りが実施**されました。

- ・自然環境調査会社が、この場所に猛禽類調査用に設置していたセンサーカメラに、クマが映り込んでおり、この場所が移動経路になっていることが後日（10/10）判明。
- ・10/31 に現地へセンサーカメラを新たに設置し、藪刈りの効果も合わせて検証しました。
- ・藪刈り以降、クマの出没はなく、移動経路の分断効果が一定程度確認されました。

[9/30 撮影]



村から建設事務所へ要請
(馬曲川河川敷伐採等)



藪化した遊休農地（高石区）

[10/10 撮影]



10/7、建設事務所で伐採◀◀◀



10/3、区と役場で緊急避難的に藪刈りを実施



点線区域を藪刈り
(延長 約 200m)

5 普及啓発

みんなで支える森林づくり推進事業…事業一覧表 ⑮

- ・今年度県内ではクマの出没が頻発し、6月には全県にクマ出没注意報が、さらに9月には出没の多かった県下5広域（北信含む）にクマ出没警報が、それぞれ初めて発出されました。
- ・また、6月と11月には管内で人身事故も発生したことから、**クマの遭遇防止啓発**に急きよ取り組むこととしました。

北信地域の独自の取り組み

①クマの出没現場における遭遇防止対策（注意喚起看板）

- ・特に**注意喚起が必要な出没場所**において、情報が伝わりにくい**観光客**や**地元住民**を対象に、**具体的な出没情報や遭遇防止対策**を周知する看板を作成、現場で注意喚起を行います。



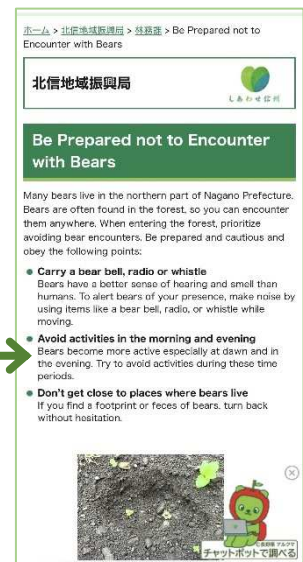
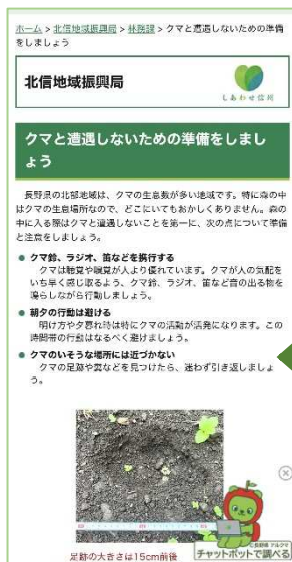
- ・看板サイズ…A2（594mm×420mm）
- ・看板は5枚ずつ6市町村に配布（現在、英語版も作成中）
- ・出没日時を手書きで記入し、直近の出没情報を周知
- ・掲出期間は2週間程度とし、看板慣れを防止



スマホで看板のQRコードを読み込むと、林務課のホームページへ。ホームページでは具体的な遭遇防止対策を確認できます。

②観光客に対するクマ遭遇防止対策（ロールアップバナー） → 森林税以外の予算で実施

- ・もう一つの取り組みとして、観光客に対するクマとの遭遇防止の啓発準備も行いました。
 - ・国内有数の観光地として、県内外から多くの観光客が訪れる管内の森林エリアにおいて、**観光客の皆さんがクマと出会わないための準備を呼びかける**特大看板を作成しました。
 - ・看板は**日本語／英語併記**とし、今後、観光客の流れが多いサービスエリアや新幹線駅、道の駅などで定期的に巡回掲示することとしています。
- 看板は、観光客の入り込みが始まる5月のGWから10月末の紅葉期までの掲示予定です。



スマホで看板のQRコードを読み込むと、呼びかけ内容を掲載したHPにジャンプ！

③イベントにおける森林税のPR（ゼロ予算事業）

地域住民が参加する「2024 信州なかの環境フェア」において、高水林業協議会による「マイ箸づくり」と長野県木材青壮年団体連合会（木青連）による「県産材の椅子づくり」の木工教室を出展しました。

今年度は木青連のご厚意により、独自の予算で木工教室を実施していただきました。

来年度は県の広域で実施する森林税事業の木工体験（事業一覧表 ④-2）に位置付けて実施していただくよう、木材団体へ要望しているところです。



R6.11.23 マイ箸づくりの様子



多くの親子連れが参加



県産材の椅子づくりも人気でした

また、飯山市環境フェアのイベント会場において、パネルやチラシを活用して森林税のPRを行いました。



R6.11.16 飯山市環境フェア